

線井筒脳電

[朝のガスパール・セッション]

★ 筒井康隆 ● 編著

朝日新聞社



電腦筒井線

[朝のガスパール・セッション]

1992年1月1日 第1刷発行

編著者——筒井 康隆

発行者——木下 秀男

発行所——朝日新聞社

編集・図書編集室 販売・出版販売部

〒104-11 東京都中央区築地5-3-2

電話:03-3545-0131(代表) 振替:東京 0-1730

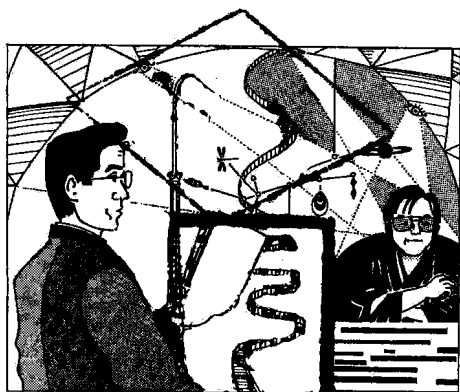
印刷・製本——大日本印刷

©Yasutaka Tutui 1992 Printed in Japan ISBN 4-02-256417-2

線井筒脳電

〔朝のガスパール・セッション〕

筒井康隆 ● 編著



朝日新聞社

装画 ● 真鍋 博

装幀 ● 多田 進

ま え が き

パソコンネットワーク「電腦筒井線」は果たして作家を孤独な密室から解放したか。いや、むしろ、作家と読者の果たし合いの場となっているのだが、朝日新聞に連載中の小説「朝のガスパール」の作者こと笑犬楼が、いまや電腦筒井線の楽しみを至福の時間としておるということは、畏友幸森軍也と平石滋の両君にちゃあんと見抜かれてしまっているのだった。

蝙蝠 えー、電腦筒井線の3バカその1、コウモリでえす。

信天翁 バカはお前だけやがな。アホウドリで一す。

蝙蝠 そんなら、あんたは何やねん？

信天翁 ボケやがな。それにしても大騒ぎでんな。

蝙蝠 そら、宴会してまっからなあ。酔って騒ぐ人、お酌をして回る人、カラオケを声高に唄う人、裸踊りをする人、謝っている人、泣いている人、怒っている人、笑っている人、走っている人、入院している人、議論をしている人、恋愛している人、ピアノを叩いている人、ギターを振り回している人、小説を書いている人、もう、わやくちゃでんがな。

信天翁 人ばかりやあらへんで。ニワトリ、カラス、半魚人、そんなまで騒いどりまんがな。

蝙蝠 ほお、偉いもんやなあ。

信天翁 そらもう、なんでもおるで。なんでもあり、ちゅうのが電腦筒井線やからな。だいたい、電腦筒井線で書いたことが「朝のガスパール」に反映されるんやからな。

蝙蝠 ええっ。そら、どないなっとなねん。

信天翁 電腦筒井線で石部智子をもっと出しておくんなはれ、と作者に

みんなで頼むやろ。ほんだら次の回でちゃんと石部智子が出てきよる。
蝙蝠 えっ？ ほんまかいな。わても早速もどって書き込みせなあか
んがな。

信天翁 そや。これ読んでるあんたも、はよ、書き込みしなはれ。ほな、
失礼しましたあ。

この本で、そのあたりの事情はよくわかる筈じゃ。ぬはははははははは
ははははははははははは。

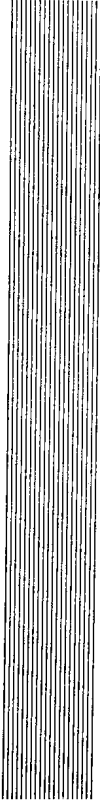
1991 年 11 月 26 日

笑犬楼ことジャズ大名こと筒井康隆

◎第1章◎

「電腦筒井線」開設まで

1991年7月5日——10月6日



UserID: lz2y-tti

Password:

ASAHI パソコンネットへようこそ！

software & visual Copyright (C) 1991 ATSON, Inc.

ただいまの時刻は、91/7/6 10:47です。

〔自己紹介を書かれていない方へ〕実りあるコミュニケーションの場を作るため、ぜひとも自己紹介をお書きいただくようお願いいたします。

◎7月1日、会議コードの接頭子 sp. b. ap.を廃止し、メニューの構成も変更しました。詳しくは、事務局からのお知らせ〈240〉番をご覧ください。新メニューマップは「1. ネット案内」の「2. メニューマップ」をご参照ください。

〔お知らせ終了、改行キーを押してください。〕

<1> inbox, 91/7/4 12:00 IH2M-UMMR(梅村 守) から

標題: ASahi パソコンネットへようこそ

期限: 91/12/31 12:00

宛先: LZ2Y-TTI

筒井 康隆 様

ASAHI パソコンネットへのご入会、ありがとうございます。
ASAHI パソコンネットは、どこからも独立したメディアとして、「会員の皆様が主役となり、会員の皆様がお互いに力を合わせて新しいコミュニティを、作り上げていく」のが趣旨です。皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

当ネットへ参加された方は、ぜひ「自己紹介」をお書きください。形式は自由です。自己紹介を書くには、トップメニューの「ネット案内」を選び、続いて「自己紹介を書く」を選びます。詳しくはお手元の『アクセスガイドブック』p.28～31をお読みください。

ただし、自己紹介を書いただけでは、あなたの存在は他の会員には分

かりません。会議室や掲示板にメッセージを書き込んでください。トップメニューの「ウエルカムコーナー」を選ぶと『ふれあいスポット』というコーナーがあります。この中の「はじめまして広場」は、はじめてアクセスした方に気軽に書いていただく場です。書き込み方法は『アクセスガイドブック』p.32～33、p.56～61をご参照ください。

ネットでは「書き込めば書き込むほど」仲間が増えていきます。相手の立場に立つ心を忘れないかぎり、その仲間を通して、職業・年齢・居住地などに関係なく、さらに人の輪が広がっていきます。ASAHI パソコンネットが、会員の方々の豊かなネットワーキングの場となることを願い、皆様のメッセージをお待ちしています。

ASAHI パソコンネット事務局

梅村 守 岩崎慎一

鈴木 浩 滝口 彰

<2> cug. tti, LZ2Y-TTI(筒井 康隆), 91/7/6 14:47

標題：配線のこと

本日、筒井康隆の家に電話線工事のひとが見えて、モデムと電話の差し込み替えが不要となる設定をしてくださいました。4本と2本であったものを4本、4本にしてくださったので、差し込み替えの必要がなくなったものです。ただし、送信中にファックスが作動するのはあいかわらずで、ファックスの電源を抜いても、電話線の方からの影響で、この通信文の中に意味不明の文字がやたらに入りこんで来ます。したがって現在は、ファックスの電話線を抜いて通信しています（電源は差し込んでいます）。

今後、いちいち切り替えなければならないのが大変なので、やはり、もう一度来ていただいた方がいいようです。

<3> cug. tti, IH2M-UMMR(梅村 守),91/7/7 13:43

標題：配線方法を検討しています

筒井康隆 様

先日は長時間お付き合いいただきありがとうございます。早速、4線切り替えの電話工事をされたとのこと、恐れ入ります。ご指摘の通り、現状ではファクスの電話線を抜いておかないと正常な通信ができません。最適の配線方法を検討し、近日中に対処いたします。

場合によっては、壁の中の配線が必要になるかもしれません（もちろん、工事費は当方で負担いたします）。出入りの電話線工事業者の連絡先が分かれば、お知らせ願えないでしょうか。当方から直接相談した方が話が早いかと思いますので……。 梅村 守 IH2m-ummr

<4> cug. tti, LZ2Y-TTI(筒井 康隆), 91/7/8 12:22

標題：工事の連絡先

電話線の配線工事は、部屋の塗装変えによる、電話線の色の変更に過ぎませんので、費用のご心配は不要です。工事の詳細は、大丸神戸店・電機売場の渡辺さんに聞いてください。 筒井康隆

<5> cug. tti, NK7K-SMD(島戸 一臣), 91/7/8 18:56

標題：筒井様、はじめまして

アトソンの島戸一臣（しまど かずおみ）と申します。

このたびは、私たちにチャンスを与えてくださいまして、本当にありがとうございます。心からお礼申し上げます。

よろしく願い申し上げます。 NK7K-SMD 島戸 一臣

<6> cug. tti, LZ2Y-TTI(筒井 康隆), 91/7/12 15:12

標題：島戸さん、よろしく。

島戸さん。こちらこそよろしく申し上げます。

今日、西垣通氏の『デジタル・ナルシス』（岩波書店）を読了しまし

た。パソコン通信を一種の官能性とともに楽しめそうな、いい予感があります。今後とも、楽しくおつきあいください。

〈8〉cug. tti, NK7K-SMD(島戸 一臣), 91/7/14 00:46

標題：『デジタル・ナルシス』

梅村さんから「読んでおくように」と、きつくいわれました。

きつい言葉を吐いたあとの梅村さんの顔は、かならず口がへの字に曲がり、含み笑いをします。ちょっとばかり、椅子にそっくり返ります。いいながら照れているんですね、きっと。

「ナルヘソ。買うよ、帰りがけに」

「へそじゃないですよ。ナルシスですよ」

「買うよ」で、玄関のところで某氏と鉢合わせした途端に忘れまして、「行こか、焼きトリ」ああ、だめだだめだ、こんなことやってちゃ。

〈9〉cug. tti, IH2M-UMMR(梅村 守), 91/7/15 03:57

標題：『デジタル・ナルシス』を読みました

『デジタル・ナルシス』を読みました。西垣通氏の著作を読んだのは初めてです。著者は私と同世代で、感覚的に分かる部分があり、読みにくくはありませんでしたが、すっきり理解できる本ではありませんでした。でも、面白かった。

感想のようなものを「私のブックエンド」という会議の「私の独断メモ」という分科会に書きました。メッセージ番号は74番です(j book[改行]で「私のブックエンド」に参加できます。そこで3[改行]と入力すると「私の独断メモ」分科会に入れます。74番のメッセージを読むには#74[改行]と入力します。(入力する文字は、いずれも大文字、小文字、半角、全角の区別はありません)。

『デジタル・ナルシス』と同時に『情報宇宙論』(室井尚著／岩波書店)も購入しました。パラパラと眺めた感じでは、パソコン通信の体験談な

ども入っており、こちらも面白そうです。 梅村 守 IH2m-ummr

<10> cug. tti, LZ2Y-TTI(筒井 康隆), 91/7/15 14:53

標題：質問。

一度読んだメッセージをもう一度読むにはどうすればいいのですか。
『デジタル・ナルシス』の感想文、どこへ書かれたのかわかりません。
今度来られた時、メッセージの記録の仕方など、お教え下さい。

<11> cug. tti, IH2M-UMMR(梅村 守), 91/7/16 03:57

標題：一度読んだメッセージをもう一度読む方法

「練習会議T」に入ったとき、未読がなければ次のメニューが出ます。

1【会議終了】 2.一覧 3.表示 4.書込 5.他 番号>

ここで、「2」を入力し[改行]キーを押すと、最新10個のメッセージの標題一覧が出ます。この標題一覧から読みたいメッセージを選び、そのメッセージのメニュー番号（左端に出る番号）を入力し「改行」キーを押すとメッセージの内容を表示します。

読んだメッセージをワープロの「文書」として記録するには「ダウンロード」という機能を使います。お手元のペラ2枚の解説文の「ダウンロード」を参照してください。

また、通信を終了した後で[消去][実行]を押しますが、これらの操作をする前なら、通信中に画面に表示した内容が「作成中の文書」として残っています。

より詳しい説明は、プリントして郵送いたします。また、24日にお伺いする時にも説明させていただきます。 梅村 守 IH2m-ummr

<14> cug. tti, LZ2Y-TTI(筒井 康隆), 91/7/20 12:52

標題：24日の件

電子メールに何回か書いたのですが、どうも届いていないようなので、

こちらに書き込みます（電子メールの送信方法がわかりません）。

24日、神戸、生田神社裏の「よし本」という小さな料亭を予約しました。汚い店ですが、味は保証します。そのあと、異人館を改装した会員制の「にしむらコーヒー」へ行きましょう。楽しみにしております。

筒井康隆

<16> cug. tti, IR9Y-NKJM(中島 泰),91/7/23 23:07

標題：楽しみにしております。

筒井康隆様。24日、楽しみにしております。

小生、かつて SF 小説にとんと縁のなかった文学少年のなれの果てで、『夢の木坂分岐点』などというおよそ小生の読書体験のすべてを帳消しにしてしまうような恐ろしい小説世界、ほとんど未知の分野に手探りで分け入るような、われながら震える胸の奥の高鳴りに育えつつ、ツツイスト志願をしている、今や老・文学かぶれのひとりとして、どうぞよろしく。

なにかしら、はじめて泉鏡花の『高野聖』を読んだときのような、だまされてもだまされても、やはり見事にだまされおうせてみたい、と夢を託しつつ、あんまり裏切られるのは嫌、と思い惑う半端な気持ち、これをしも小説読みの醍醐味というべきなのでしょう。中上健次氏がいみじくも、小生を名指して「存在の耐えがたき軽さ」と言ってくれましたが、文学も存在も軽いほうが心地よいものだと、いとも軽く納得した次第です。

ともあれ、このネットを通じ、軽やかに楽しい何かが生まれれば幸いと存じます。

中島 泰

<11> inbox, 91/8/5 23:13 IH2M-UMMR(梅村守)から

標題： Re : 幸森氏、平石氏、参加勧誘の件

筒井康隆 様

幸森氏、平石氏および大上氏の件、了解いたしました。幸森氏、平石氏のお名前は『筒井康隆読本』などで存じ上げています。強力なメンバーの参加、楽しみにしています。

山下氏からは、つい先ほど（5日午後8時頃）メールをいただきました。中村氏とは6日の午後お会いする予定ですが、すでにアクセス可能の筈です。

先週、学芸部デスクの山本氏と会い、ASAHI パソコンネットの雑誌広告と今回の企画の件について打ち合わせをしました。山本氏としてはできるだけ協力したいとのことでしたが、ネットの広告に今回の企画を掲載するのは、やはり正式の社告が出てからということにしました。それまではアングラ的に広報していくつもりです。

また、『ASAHI パソコン』（朝日新聞社が発行しているパソコン雑誌）の編集長も、この件についてインタビュー記事を作りたいと申しております。

梅村 守

<12> inbox, 91/8/6 10:08 GH8Y-YMST(山下洋輔) から

標題：届くでしょうか

ようやく通信ができるようになりました。これが届くでしょうか。

梅村氏からのお知らせで「練習会議T」に入り込み最近の通信を読ませていただきました。スリルがあります。まずはファーストコンタクトでした。

<20> cug. tti, KI4S-NKMR(中村 正三郎), 91/8/7 12:41

標題：やっと来ました

さきほど練習会議で書き込みの練習をして、やっとここに書いています。

まだまだ勝手がわからず、右往左往しておりますが、ようやく筒井さんとネット上でお会いできて、感激しております。

以後、よろしくお願いします

中村(show)

<21> cug. tti, LZ2Y-TTI(筒井 康隆), 91/8/7 15:00

標題：中村さんようこそ

参加、おめでとうございます。大歓迎いたします。

山下洋輔氏も、すでに電子メールに書き込んでおられますが、その他、日本筒井党党首・幸森軍也氏、筒井康隆専門文芸評論家・平石滋氏も参加の予定です。

全員に、電子メールではなく、この練習会議 T の方へなだれ込んでいただいて、完全私物化をもくろみたい（もうやっておりますが）と思います。

今後の作戦の打ち合わせはこの場で行いましょう。

では今後ともよろしくお願いします。

筒井康隆

<13> inbox, 91/8/7 15:41 GH8Y-YMST(山下洋輔) から

標題：やはりいました

もの珍しいのでネットワークの内を色々調べています。やはり、筒井、山下、エルビン、コルトレーンなどと言い交わしているヤカラがおりました。「会議室」内「趣味娯楽」の7番「ゆうゆうゆの音だね」という部屋です。クラシック以外のジャズ、ポップス関係はここに集まっているようです。ちなみにその話題は連番911あたりにでています。以上くだらぬことながらご報告いたします。

京都においでになるとのこと、大変光栄です。お好みの席がありますか。ま、どこも同じせまいライブハウスですが、一応あまりステージに近すぎず比較的うるさ過ぎず正面のよく見える場所を6人かためて確保しておきます。おいでのときに、ムラマツなりヒカリママがご案内するでしょう。

<22> cug. tti, GH8Y-YMST(山下 洋輔), 91/8/71 9:44

標題：乱入させていただきます

筒井康隆氏のご紹介によって乱入させていただきます山下洋輔です。

こういうことにはまったくの初心者ですので、すべてもの珍しく、あちこちの部屋をのぞき回りました。するとやはりいましたよ。筒井、山下、エルビン、コルトレーンなどと言い交わしている者どもが。会議一趣味一ゆうゆうゆの音だね、という部屋です。この筒井部屋のセッションが本格的にはじまるとどうということになるのか、いやあ、楽しみです。ツイストの連中とも即時にいつも会えて話ができるわけで、これはもう嬉しいの極地を越えて多分全員気が狂うでしょう。そのときを楽しみに。よろしくお願いします。

<23> cug. tti, LZ2Y-TTI(筒井 康隆), 91/8/9 11:53

標題：中村さん。自己紹介お願い

中村正三郎様。山下洋輔氏をご紹介します。お名前はよくご存じのことと思います。

中村さんの自己紹介をお願いします。私も山下氏も、中村さんのことをある程度までしか知りません。私が紹介して、間違ったことを書いてもいけませんので、ひとつ簡単にお書き込みください。よろしく。

筒井康隆

<24> cug. tti, KI4S-NKMR(中村 正三郎), 91/8/9 17:03

標題：自己紹介

すみません。まだ自己紹介を書いていませんでした。さっそく簡単にここで書きます。といいつつ、100行も書いたらヒンシュクでしょうね。冗談はおいといて。

中村正三郎 (なかむら しょうざぶろう)

昭和34年1月3日生まれの今年32歳です。その割には頭がはげていま